

霧島

広報きりしま

9

September.2012
VOL.150

Kirishima City Public Relations, Japan
2012.9.4発行 VOL.150

霧島
広報きりしま



発行/〒899-4394 鹿児島県霧島市国分中央三丁目45-1 世/0995-45-5111(代)
ホームページ/URL http://www.city.kirishima.jp ■メール/〒899-45-5111(代)
編集/秘書広報課 TEL/0995-64-0955 FAX/0995-64-0934 ■印刷/南國新聞(生社印刷)



広告

家族葬46万円

天国葬祭なら、不明な追加料金は一切ありません。
返礼品、お料理、飲み物まで含んでおります。

絆プラン

基本費用		お棺セット	消耗品 受付、線香等
スーパーアイス (2日分)	司会・進行 通夜式・葬儀式	式場使用料 (2日間)	案内板一式
遺影写真 カラー四つ切り	企画・管理 納棺奉仕	骨壺セット	寝台車10kmまで (病院~自宅/自宅~式場)
祭壇 供物込	霊柩車10kmまで (斎場~火葬場)	おもてなし費用	
香典返礼品 (通夜30個・返礼品30個)	お食事 (親族10名様分)	会葬礼状 30枚	飲み物
香典返礼品 (通夜30個・返礼品30個)	お食事 (親族10名様分)	お世話係り	飲み物

おまぐせまで

一般通常価格
58.5万円

↓

if共済会員価格
46万円

if共済会員募集中!

1万円の入会金で生涯会員。
月会費などは一切ありません。

if共済会とは…
遺された方々の負担を少しでも軽くしていただけるために
生まれた相互扶助のシステムです。全国の葬祭専門
業者約1,500社が参加しています。
◆ご葬儀施行時、特別割引料金でご奉仕致します。
◆きずなプランを利用するには生前入会が原則です。

天国葬祭なら他社互助会の積立金を活用できます。

2013年12月末日まで有効

例えば 4,000円×100月分=40万円を積み立てた。
解約手数料=68,400円が、積立金40万円から引かれます。
払い戻し金=331,600円がお客様の口座に払い戻されます。

他社互助会の積立金	40万円
払い戻し金(戻るお金)	331,600円
解約手数料(戻らないお金)	68,400円
天国葬祭が負担	68,400円

※解約手数料のご負担には、諸条件がありますので詳しくは最寄りの天国葬祭でご確認ください。

そこで 天国葬祭は、解約手数料の68,400円を天国葬祭での葬儀時に負担いたします。

天国葬祭は、そんなあなたのお役に立ちます。
ひとまず、ご連絡ください。

万一、解約申し出に互助会が応じてくれなかった場合、右の所轄課へご連絡ください

本省 経済産業省取引信用課 ☎03-3501-2302
九州経済産業局 消費経済課 ☎092-482-5459

監修・編集；全日本葬祭業協同組合連合会 東京都港区港南2丁目4番12号 港南YKビル4階 TEL03-5769-8701

特集 Special Feature 上野原縄文の森 開園10周年

地中に眠るロマン

テン ゴク サンニ

0120-1059-32

始良みそらホール 始良市西餅田 3288 始良市始良高齢者福祉センター前
TEL.0995-65-0444 FAX.0995-65-4429

加治木天国会館 始良市加治木町木田2342
TEL.0995-62-0444 FAX.0995-62-0042

セレモニー国分天国会館 霧島市国分福島3-1-20
TEL.0995-46-0444 FAX.0995-46-4444

www.tengokusousai.com



縄文時代とは
日本の歴史は旧石器時代に始まり、縄文、弥生、古墳と移り変わる。氷河に覆われていた旧石器時代はマンモスやナウマン象などの大型獣を食料とし、遊動生活をしてきた時代。続く縄文時代は温暖化を迎え、豊かな森が発達し、狩猟に加え木の葉などの採集も生活の基盤となった。煮炊き用の土器や狩猟用の石鏃などが出現する。縄文時代は今から約1万3000年前から2300年前のおよそ1万年間続いた。

上野原縄文の森 開園10周年

地中に眠るロマン

平成14年10月に「鹿児島県上野原縄文の森」が開園して、今年で10年を迎えます。県内外から年間10万人以上が訪れる施設で、

国指定史跡「上野原遺跡」や

国指定重要文化財「上野原遺跡出土品」などを見学することができます。

考古学的に大変貴重な資料が揃う施設ですが、

地元の方々に理解されていない現状もあります。

そこで今回は、上野原縄文の森の楽しみ方、

このまちに悠久の昔、花開いていた縄文文化の魅力を探ってみました。

今から15年前の平成9年5月、日本の考古学界を揺るがす大発見があり、新聞やテレビで大きく報じられました。

「上野原遺跡 最大、最古級の定住集落発見」

縄文文化は東から西へ伝わったというのが通説だった当時、縄文時代の大集落として有名な青森県の三内丸山遺跡（約5500年前）から数千年さかのぼる、約9500年前の定住化した集落が南九州で発見されたことは、全国に衝撃を与える、まさに世紀の大発見でした。同年6月に開催された遺跡見学会には、全国各地から1日6000人を超える考古学ファンや家族連れなどが集まり、連日多くの見学者でにぎわいました。

歴史を刻み続けた遺跡

最先端技術の工業団地「国分上野原テクノパーク」建設にともなう、昭和61年から発掘調査が始まった上野原遺

跡。縄文時代を中心に中世までの遺構や遺物が数多く発見され、長い間、この地に入りの営みがあったことがわかりました。中でも特徴的な時期が二つあります。

一つは多数の遺物が出土した約7500年前の時期。上野原台地の高台で出土し、見晴らしのいいこの場所は日常生活の場だけではなく、祭りなどの儀式が行われた特別な場所だったと考えられています。そして、もう一つが日本中を驚かせた約9500年前の定住集落があった時期です。

当時、発掘調査の作業員として働いていた四元誠さん（39）は「地中からたくさん出土器が出てきても、それがどのくらいすごいことか初めは分かりませんでした。専門家の興奮した様子にただ事ではないと感じました。遺跡見学会に押し掛けられた人の数と熱狂ぶりにも驚きました。自分たち作業員も案内役を務め、

一日に何度も遺跡を案内したことが懐かしいです」。遺跡見学会に参加した濱田かおりさん（35）は「その頃、大学で考古学の勉強をしていましたが、自分の住む国分で、こんな貴重な遺跡が発見されたことに驚きました。遺跡の規模や豊富な出土品に鳥肌が立つほど感動したのを覚えています」と当時を振り返ります。

天からのプレゼント

工業団地造成のために始まった上野原遺跡の発掘調査でしたが、保存・活用の声が高まり、平成9年6月、当時の須賀竜郎県知事が「天からのプレゼント」とコメントし、現地保存を表明しました。

そして、平成14年10月、35万4671平方メートルの敷地に約124億円を投じて建設された「上野原縄文の森」が開園しました。そこは、ただの展示館ではなく、縄文時代の当時の植生を再現した森が広がり、復元集落が立ち並ぶ異空間。「縄文時代へタイムスリップ」できる施設の誕生でした。

上野原遺跡と縄文の森のあゆみ

S59.3	国分上野原テクノパーク建設決定
S61年度	「国分上野原テクノパーク」発掘調査開始【弥生時代の土器、竪穴住居跡などを発見】
H4～6年度	【7500年前の壺形土器、土偶、耳飾りなどを発見。台地の高いところに丸と四角の口をもつ2個の壺型土器が完全な形で埋められており、その周辺にも土器や石斧が埋納されていた】
H7～9年度	【9500年前の地層から、2条の道筋に沿った52軒の竪穴住居群を中心に、39基の集石遺構や16基の連穴土坑などを発見】
H9.5	鹿児島県立埋蔵文化財センターが上野原遺跡について「縄文時代の定住化した国内最大規模で、かつ最古級の集落遺跡」と発表
H9.6	須賀竜郎県知事現地保存表明
H10.6	上野原遺跡の出土品(約7,500年前)767点が「国指定重要文化財」に指定
H11.1	上野原遺跡が「国指定史跡」に指定
H14.10	上野原縄文の森 開園

当時の新聞掲載記事



南日本新聞
(平成9年5月27日、6月2日、6月3日)



上野原縄文の森には、地元の遺跡をもっと人々に知ってもらい、親しんでほしいとボランティアでガイドを務める人たちがいます。

どんぐり倶楽部は上野原縄文の森のオープンと同時に結成され、今年で10年を迎えます。上野原遺跡のガイドをはじめ、自然あふれる縄文の森を活用したさまざまなイベントを実施しています。私たちの活動を通して、訪れた人に驚きと感動を、子どもたちに学校ではできない貴重な体験を提供できるように努めています。地元にごんごんに素晴らしい遺跡があることは私たちの誇りです。「地域の遺跡は地域で守る」ことをモットーに、市外・県外の方はもちろん、地元の方にももちろん、地元の方により親しまれる施設になるよう、私たちも頑張ります。



ボランティアガイド

福山町福山在住
上野原縄文の森支援友の会「どんぐり倶楽部」会長
益山博美さん(72)

↓集石遺構
石を焼き、焼けた石の中に葉で包んだ食材を入れ、上から土をかぶせて蒸し焼きにする調理施設。



燻製の技術で獲物がとれなかった日もお肉を食べることができたんだね。

遺跡保存館→

9500年前の竪穴住居跡や集石遺構・土坑などを、発掘されたままの形で展示・保存。実際に縄文人が暮らした場所は必見。



地層観察館→
上野原遺跡の時代を示す根拠となった火山灰層や縄文時代の地層など実物を見ることが出来る。

縄文の森を楽しまよう

上野原縄文の森は歴史や縄文文化が学べるところ。でも、学者や考古学ファンだけの施設ではありません。子どもから高齢者まで幅広い年代の人に、見て、体験して、森の空気に癒やされて、ゆっくり楽しんでもらえる場所です。

今回はそんな魅力を探るため、地元の小学生で結成された「文化財少年団」と、縄文人の生活を体験するイベント「縄文キャンプ村」に密着取材しました。そこには、驚きと感動とたくさんの笑顔が広がっていました。

縄文の世界へタイムスリップ



ボランティアガイド

国分湊在住
又木映実さん
(国分南中3年)

自分が成長できる夏休みにしたいと思って、上野原縄文の森のボランティアガイドに応募しました。事前学習会と現地研修に加えて、自分なりに勉強し、分かりやすい案内の仕方を何度も練習しました。本番でお客さま相手に説明するのは少し緊張しましたが、楽しんでもらえてうれしかったです。私のお気に入り、肉や卵を燻製する調理施設“連穴土坑”です。冷蔵庫もない時代に食べ物を長持ちさせることができる、昔の人の知恵はすごいと思います。上野原遺跡の素晴らしさを、子どもからお年寄りまでたくさんの人たちに伝えたいです。



10th ANNIVERSARY 上野原縄文の森
地中に眠るロマン

↓展示館
国の重要文化財に指定された7500年前の出土品や県内で発見された土器などを展示。縄文時代の生活を再現したジオラマやシアターもあり、歴史に詳しくない人も当時の様子を知ることができる。



↑復元集落
縄文時代の竪穴住居を復元。中に入ることもできるので、縄文人気分を味わえる。意外と夏は涼しく、冬は暖かい。

家族で1泊2日の縄文キャンプ村に参加しました。子どもたちにいろいろな体験をさせてくれて毎年参加し、今年で3回目です。初日の夕食は縄文料理に挑戦。連穴土坑でお肉や卵を燻製にしたり、集石遺構でじゃがいもを蒸したり。想像以上においしくて、昔の人の知恵に感動しました。夜は復元した竪穴住居に泊まりましたが、子どもたちは普段できない体験に驚いたり、はしゃいだり、とても楽しんでいました。こんなに素晴らしい遺跡が地元であり、勉強や体験のできる施設が整っていることはうれしいです。これからも活用したいです。



参加者

小さいころ、テレビでエジプトのツタンカーメンを見てから歴史に興味を持つようになりました。自分の住んでいるまちの歴史を知りたくて、文化財少年団に応募しました。今日は上野原縄文の森の展示室や遺跡保存館、地層観察館などを見学しましたが、一番に残ったのは展示室です。いろいろな形の土器や石器があって、どうやって使われていたのか考えると楽しくなりました。上野原縄文の森には何度か来たことがあって、アスレチックで遊んだり、弓矢を作ったりしたことがあります。楽しいところなので、また家族で遊びに行きたいです。

国分福島在住
中尾颯吾君
(国分西小4年)



参加者



集石遺構で蒸し焼きにしたイモをかぶり

土器は、ひも状にした粘土を巻き上げて形を作ったみたい。



土器パズルに夢中



- 体験メニュー ●火おこし(15分～) 無料 ●アクセサリ作り(60～90分) 200円 ●アングン編み壁掛け作り(30分～) 無料 ●弓矢作り(15分～) 300円 ●どんぐりアート(45分～) 50円 ●平織りコースター作り(60分～) 100円 ●おえかき土器(10～30分) 300円 ●縄文プレスレット作り(45分～) 100円 ●森の実ペンダント(15分～) 300円 ●美海真珠(60分～) 400円 ●土器作り体験(15分～) 150～500円
- 縄文料理体験メニュー(要予約・食材持ち込み) ●燻製(90分～) ●石蒸し(120分～)

※復元集落の宿泊体験は、イベント時のみ。

上野原縄文の森は貴重な資料の見学も縄文早期の生活体験もでき、誰でも楽しめる施設です。さらに一步踏み込んだ魅力を探るため、南九州縄文研究会代表で文学博士の新東晃一さんに話を聞きました。

上野原遺跡の価値

「発掘調査の結果、9500年前の上野原には、10軒ほどの竪穴住居が建ち、50人ほどが暮らしていたと考えられます。人々の食生活は狩猟・採集だけでなく、集石遺構や連穴土坑を使った調理の技術もありました。7500年前の時代は、全国に先駆けて土偶や耳飾り、壺型土器などを使って祭りが行われていたと考えられます。これは、非常に先進的で高い精神文化が花開いていたことを示します。上野原遺跡は、一級品の遺構や遺物が発見されたことはもちろん、広大な敷地を調査したこと、これまで断片的にしか解明されていなかった集落の全体像が見え、当時の人々の生活の様子が詳しくわかった点で評価されています」

「昨年1月、新燃岳が大噴火したように、私たちは火山の脅威にさらされています。6400年前、上野原の人々の生活を壊滅させたのも鬼界カルデラの大爆発でした。しかし、皮肉にもその火山灰層が考古学には大きな成果を生んでいます。科学的な研究で噴出年代がわかる火山灰。南九州は特に火山活動が盛んで、大地に降り積もった火山灰は何層にも堆積しています。その地層を利用して年代がわかるのです」

悠久の時を越えた

縄文人からのメッセージ

この集石遺構や連穴土坑で人々は料理をしていた。この壺や耳飾りは儀式のときに使われた。地層のこのラインは火山灰か。縄文人が残したサインは、太古の昔へのロマンをかき立てます。上野原縄文の森では、そんなたくさんのサインが皆さんを迎えてくれます。

新東さんは「こんなに素晴らしい遺跡があることを、地



地中に眠るロマン



地域の歴史の感動がここに

現代に語りかける遺跡

縄文文化をのぞいてみませんか。

どなたでも参加できますので、ぜひご来場ください。

縄文シティサミットinきりしま
10/13(土) 午後3時～6時
場所/霧島市民会館

縄文遺跡のある16市町のネットワーク化を図り、縄文の魅力、歴史的意義を全国に発信しようと毎年開催されている「縄文シティサミット」。今年は霧島市で開催します。
※上野原遺跡のある霧島市は九州で唯一の参加都市です。

【第一部】記念鼎談「遺跡から見た災害と生活」

・登壇者＝小林達雄さん(國學院大学名誉教授)
新東晃一さん(南九州縄文研究会代表)
辛島美登里さん(シンガーソングライター・おじゃんせ霧島大使)

【ミニライブ】辛島美登里さんのミニライブ

【第二部】サミット「縄文遺跡・これからの活用」

・登壇者＝小林達雄さん、縄文都市連絡協議会加盟都市首長
※入場無料。

問＝文化振興課文化財グループ ☎(42)1119

開園10周年記念

縄文の森秋まつり

10/13(土)→14(日) 午前10時～午後3時
場所/上野原縄文の森 体験広場

薩摩剣士単人ショーや太鼓、ダンスの披露など楽しいステージと、さまざまな体験活動が楽しめます。燻製卵や肉、石蒸しイモなど縄文料理も販売します。

体験活動＝火おこし、アクセサリー作り、竹細工(13日)、土器作り(14日)木の工芸、どんぐり工作など。

問＝上野原縄文の森 ☎(48)5701

新東晃一さん(65)

昭和22年伊佐市(旧大口市)生まれ。文学博士。岡山理科大学理学部卒業。過去の火山活動を分析して考古学に生かす「火山灰考古学」を提唱。岡山県教育委員会文化課、鹿児島県教育委員会文化課などを経て鹿児島県立埋蔵文化財センター次長兼南の縄文調査室長として、南九州の考古学を積極的に進める。平成20年退職後も南九州縄文研究会代表として、講座や講演、執筆活動などを行い、地元の考古学水準の向上に努めている。

元の人たちがもつと誇りに思い、活用してほしい。開園10周年を機に改めて縄文文化に思いを馳せてほしいですね」と話していました。

今年、上野原縄文の森の体験イベント「秋まつり」に合わせて、上野原遺跡の歴史と今後の活用について考える「縄文シティサミット」が開催されるなど、縄文文化にふれるチャンスがたくさんあります。先人たちが地中に残したメッセージを受け取るために、まずは上野原縄文の森へ行ってみませんか。

考古学的に非常に価値の高い上野原遺跡。それまでは日本で発展したと考えられていた縄文文化が、数千年もさかのぼる時代に南九州で花開いたのはなぜか。新東さんは興味深い指摘をします。

「日本の歴史は旧石器時代に始まり、縄文、弥生、古墳と移り変わります。旧石器時代末から縄文時代にかけて温暖化が進み、豊かな森ができてきます。森ができると木の実や植物が増え、それを求めて動物も集まってきました。これまで食べ物を追いかけて遊動していた人々は、食料になる動物・植物が揃った場所に定住したと考えられます。日本で最初に温暖化が進んだのは、南九州。上野原の台地、ほかの地域に先駆けて人々がムラを作ったことは、森や植生のいち早い形成と大きな関係があったのです」

豊かな森がもたらした恵みの文化、定住集落があったのは9500年前とされます。しかし、なぜその年代がわかるのか。答えは新東さんが長年提唱してきた火山灰考古学



300年以上続く 伝統行事

300年以上続く牧園町中津川の伝統行事「犬飼火流し」が8月15日、同地区の中津川で行われ、約100人の見物客が訪れました。この行事の由来は仏教の精霊流しに通じ、毎年8月15日に開催されています。孟宗竹で組み、七夕飾りなどが積み上げられた約4㍍四方のいかだに、辺りが暗くなると火がつけられ、燃え上がるいかだがゆっくりと川を下っていきます。途中、川岸から竹などが投げ込まれると、炎がさらに高く燃え上がり、「ボン、ボン」と竹がはじける音が響き渡り、多くの見物客から歓声が上がっていました。

通じ、毎年8月15日に開催されています。孟宗竹で組み、七夕飾りなどが積み上げられた約4㍍四方のいかだに、辺りが暗くなると火がつけられ、燃え上がるいかだがゆっくりと川を下っていきます。途中、川岸から竹などが投げ込まれると、炎がさらに高く燃え上がり、「ボン、ボン」と竹がはじける音が響き渡り、多くの見物客から歓声が上がっていました。



仲間と共に 勝ち取った準優勝

ファミマカップ第32回全日本小学生バレーボール大会(女子)が8月7日から10日まで関東各地で行われ、鹿児島県代表として出場した日当山バレーボールスポーツ少年団が見事準優勝しました。決勝戦では高知県代表の中村JVCと戦い、一進一退の攻防を繰り広げフルセットの末、全国制覇には手が届きませんでした。県代表として素晴らしい成績を残しました。中福良小学校の馬渡菜摘キャプテンは「優勝はできませんでしたが、チーム一丸となり、チームで勝ちとった銀メダル。とてもうれしいです」と話していました。

決勝戦では高知県代表の中村JVCと戦い、一進一退の攻防を繰り広げフルセットの末、全国制覇には手が届きませんでした。県代表として素晴らしい成績を残しました。中福良小学校の馬渡菜摘キャプテンは「優勝はできませんでしたが、チーム一丸となり、チームで勝ちとった銀メダル。とてもうれしいです」と話していました。



地域の伝統行事に 興味津々

毎年、精進落としの伝統行事として行われる「はんぎり出し」が8月16日、国分広瀬の潮溜まりでありました。V字型に組んだ7㍍の竹2本の開口部の先端に板と、馬の飼料を入れるおけ「はんぎり」を縄で組み、板の上から投網を投げ入れます。当日は約300人の見物客が訪れ、網を投げ入れたり、ボウなどの魚が網にかかったりすると大きな歓声が上がっていました。隼人町日当山から来た山下京子さんは「兄妹と一緒に初めて見に来ました。網にたくさんの魚がかかり驚きました。また来年も見に来たいです」と話していました。

当日は約300人の見物客が訪れ、網を投げ入れたり、ボウなどの魚が網にかかったりすると大きな歓声が上がっていました。隼人町日当山から来た山下京子さんは「兄妹と一緒に初めて見に来ました。網にたくさんの魚がかかり驚きました。また来年も見に来たいです」と話していました。



文化交流で たくましく成長

第20回日韓親善子供大使友好の翼が8月16日から19日にかけて行われました。市内の小学5・6年生16人が参加し、釜山広域市の培英初等学校を訪れました。旧溝辺町時代から始まり、今回は第20回目となる節目の交流で、交流会やホームステイ、韓国伝統体験などをしました。高田教育長も同行し、釜山広域市教育長を表敬訪問しました。溝辺小学校6年生の福山幸太くんは「文化の違いに驚きましたが、とてもいい体験ができました」と話していました。また、来年1月には培英初等学校の皆さんが霧島市を訪問されます。

溝辺小学校6年生の福山幸太くんは「文化の違いに驚きましたが、とてもいい体験ができました」と話していました。また、来年1月には培英初等学校の皆さんが霧島市を訪問されます。

の清掃作業を行う予定です。このような取り組みを行うことで景観も良くなり、きれいになった市道を通行する利用者が増えたり、見通しが良くなり不法投棄が減少したりする効果も期待されます。一人一人が何気なく捨てたごみは少ないかもしれませんが、それが集まると大きな問題になってしまいます。市民皆さんで協力しあい、美しい環境を未来へ残すために、ぜひ参加してください。



今別府自治会の清掃作業(溝辺町)



遊友会の清掃作業(隼人町)

道路アダプト制度スタート

美しい環境づくりのために 身近なことから始めてみませんか

鹿児島県が5年に1回行っている、社会生活基本調査の結果、県民は清掃などのボランティア活動に熱心という調査結果が出ました。この調査は、私たちが1日のうち、どのくらいの時間を仕事や学業、地域での活動などに費やしているか、また過去1年間にどのような活動を行ったかなどを調べています。調査では過去1年間で自由時間をボランティアに充てたことのある人の割合が34.4%で、山形県と鳥取県に次ぎ全国で3番目に多い結果でした。

市内でも市民や団体の方たちが積極的にボランティアで清掃活動などを行っています。自宅付近の道路を毎日、清掃している隼人町の田畑満さん(62)は「健康づくりのために、自宅付近を歩いていたら、空き缶やタバコの吸い殻などのごみを見かけました。健康づくりを兼ねて、8年前から清掃活動をしています。約5㍍の範囲を2時間かけて清掃しますが、やり終えた後には、すがすがしさや達成感を感じることができ、住んでいる地域の環境を考え、多くの方に清掃活動をしてもらいたいと思います。これからも体が続く限り、この活動を続けていきたいです」と、熱く話す言葉からは、ボラン

は5人以上で構成する地区自治公民館、自治会、老人クラブ、PTA、その他か活動の継続性が保たれる団体が対象となります。●対象となる取り組み 市が定めた国道・県道・市道で、次に掲げる取り組みが必要です。

●対象となる団体 市内の企業などの法人また



清掃作業をする田畑満さん

ティア活動に対する熱意を感じます。

ボランティア活動は誰でも自由に参加できます。小さい子どもから大人まで、誰でも清掃を楽しむことができます。目の前の小さなことや、自分のできることを、まずは身近なことから始めてみませんか。

霧島市道路アダプト制度

道路をわが子のように愛情をもって面倒をみていただく、自治会や市民活動団体などによる美化活動に対して、支援金を交付する「道路アダプト制度」を今年度から開始しました。現在の登録団体数は20団体(8月8日現在)で、約20㍍

- 道路の草刈り(年2回以上)
- 道路のゴミなどの収集、処分(年2回以上)
- 道路破損などの情報提供
- 支援金交付内容 作業区間の延長により、次の支援金を交付します。
 - 400㍍以上750㍍未満 3万円
 - 750㍍以上1500㍍未満 4万円
 - 1500㍍以上 5万円
- ※活動作業中の事故などについては、市が加入している保険が適用されます。

- 750㍍以上1500㍍未満 4万円
- 1500㍍以上 5万円
- ※活動作業中の事故などについては、市が加入している保険が適用されます。
- ◎ 建設施設管理課 道路維持グループ(64)0865、各総合支所産業建設課



INTERVIEW

溝辺町竹子今別府自治会長の溝口敏郎さん

自治会内での話し合いで、道路アダプト制度に登録することにしました。登録することで、自治会にもお金が入り、自治会内の運営も少し楽になります。今日は550㍍の長さの道路を約30人で清掃したり、道路破損がないか状況確認したりしました。12月にもあと1回予定していますが、地元の道路をきれいにし、気持ちのいい地域にしていきたいと思っています。



遊友会会長の鍋谷末熊さん(隼人町小田在住)

私たちの会員は、ほとんどが65歳以上の高齢者です。今回清掃した小野浜トンネル付近は、インターが近くにあるため車の交通量が多い場所です。地元住民はもちろんです。霧島市は観光地でもあるので、訪れた人たちに気持ちよくドライブしてもらい、改めて霧島市は素晴らしい場所だと感じてもらいたいです。ボランティアとして、毎月1回、草払いや花を植えています。これからも地域に貢献したいです。

元気きりしまっ子

いざ行け！ きりしま探検隊

神造島で無人島体験



たくさんさんの体験で
大きく成長

6泊7日で霧島の魅力を体験



韓国岳登山 釣った鮎は塩焼きに みんなで川遊び 海釣りを体験 みんなで料理にも挑戦

7

月22日から28日までの6泊7日の日程で「第3回いざ行け！きりしま探検隊」が行われ、応募のあった小学5年生から中学2年生までの42人が霧島の自然を満喫しました。

この活動は、霧島市の豊かな大自然の中で、小学生から中学生までが一緒に集団生活や自然体験を通じて、感受性豊かな「きりしまっ子」を育成するために、市教育委員会が毎年夏休みに実施しています。

大自然を満喫

今回も自然や歴史の魅力を体験できるたくさんさんの体験メニューが組まれました。天降川源流の探検や韓国岳登山では白煙が立ち上る新燃岳の火口を見るなど生きる火山の迫力を体感しました。上野原縄文の森では

VOICE



◎横川中学校 1年 長坪 空君

自然が好きで、小学5年生の時、初めて「いざ行け！きりしま探検隊」に参加、今回が2回目です。1回目は言われてから行動していましたが、今回は班の中で最高学年、しかも班長という立場だったので、自分から周りに声をかけるように心掛けました。みんなでいろんな体験をしていくうちに絆が生まれ、楽しい1週間でした。今回感じたことは助け合うことの大切さ。班をまとめることができたのも、みんなが協力してくれたおかげ。経験したことを今後に生かしていきたいです。

火おこしや縄文料理に挑戦、錦江湾では海釣りや干潟観察などを体験。釣った魚は自分たちでさばきました。最終日には隼人港沖の無人島「神造島」に行き、錦江湾の美しさを満喫しました。引率した市教育委員会生涯学習課の新沙耶香主事補は「最初は遠慮していた子どもたちが、いろいろ体験をしていくうちに打ち解けて、団結力が強くなりました。中学生はリーダーシップを取るようになり、小学生のいいお手本になっていました。後半には、みんなが率先して行動するようになり、子どもたちがたくましく見えまして」と話していました。霧島の大自然を満喫した6泊7日。最終日に無人島で見た真つ黒に日焼けした子どもたちの笑顔は成長の証です。

新刊紹介

青い島の教室

池永陽作
教師から疎外された喧嘩屋とヤリセンといじめられる少女。不幸を背負った2人は、ひたむきに幸せへの道を探る。島の子どもたちと「ぐうたら先生」が織りなす感動の物語。



船を待つ日

村木嵐作
「小坂屋」の跡取りお嬢・翠は器量良しだが、近目で不器用なのが玉にきず。神君家康公ゆかりの眼鏡にいななわれ、翠は弟分とともに西国からやって来る「人買い船」を探す……



高齢者のためのかんたんレクリエーション

三瓶あつさ作
新聞紙や風船といった身近なものを使い、高齢者の運動能力の差をカバーするための工夫が満載。



ねいばあのおくぐり

北見葉胡作
森に囲まれたステキなホテルにやってくるリネ。気持ちのいいところなのに、リネの胸はざわさわわしています。夜中、ふと目を覚まして外を見てみると、小柄なおばあさんがいて……



図書館へ行こう

<http://www.lib-kirishima.jp/>

- 凸凹サバンナ／玖村まゆみ 解／堂場瞬一
- その暁のぬるさ／鹿島田真希
- あこのころのデパート／長野まゆみ
- はかぼんさん 空蟬風土記／さだまさし
- 幸せの条件／誉田哲也
- 明日のことは知らず／宇江佐真理
- 虚像の道化師／東野圭吾
- 途中の一步／雫井脩介
- レオン氏郷／安部龍太郎
- 健康なからだをつくる豆乳の魔法レシピ／浜内千波
- リックとささよえる幽霊たち／エヴァ・イボットソン
- おかあさんの手／まはら三桃
- 保健室の日曜日／村上しいこ
- りんご畑の12カ月／松本猛
- ルドルフとスノーホワイト／斉藤洋

私の宝本

家族の絆の大切さを感じる一冊

推薦者 坂口美智子さん
牧園地区子ども会 育成連絡協議会会長

欲しいものは、なんでもミシンで作ってしまうお母ちゃんでも…温かい親子の物語です。長谷川義史さんの絵本は読んでいると心がぽかぽかしてきて自分の幼いころの思い出が懐かしさを思い出します。去年の東日本大震災後、誰もが家族、親子の絆の大切さを改めて考えさせられました。

おかあちゃんが つくったる 作者名：長谷川義史

霧島市立図書館においでください。

霧島市7か所の図書館(室)で本が借りられます。

- 国分図書館／☎64-0918
- 隼人図書館／☎43-7574
- 溝辺図書室／☎58-3191
- 横川図書室／☎72-1596
- 牧園図書室／☎78-3349
- 霧島図書室／☎57-0316
- 福山図書室／☎56-2026

イベント名()内は主催団体です	日時 [対象]	問い合わせ先
幼児と小学生のためのおはなしの部屋 (りんごの木)	10月 6日 (土) 10:30 ~ 11:30	国分図書館
赤ちゃんとわらべうた・えほんのへや (りんごの木)	10月 1日 (月) 10:30 ~ 11:00	
ほととの森おはなし会	9月22日 (土)、10月13日 (土)・27日 (土) 14:00 ~ 14:30	隼人図書館
おはなしの部屋	10月 4日 (木) 16:00 ~ 16:30 [幼児]	
	10月 5日 (金) 11:00 ~ 11:30 [赤ちゃん] 9月16日 (日) 11:00 ~ 11:30 [幼児・小学生]	
語りの部屋 (語りの会あもり)	10月14日 (日) 10:30 ~ 11:30 (場所:サンあもり)	横川図書室
おはなし会 (おはなしの会「さんぼ道」)	9月15日 (土) 14:00 ~ 15:00	福山図書室
おはなし広場 (ふくの子おはなし会)	9月22日 (土) 10:00 ~ 11:30	福山図書室

*国分図書館のイベントは健康マイレージ対象事業です。

環霧島会議とは、霧島山を取り巻く鹿児島・宮崎両県の5市2町で構成され、県境を越えて連携し地域活性化を図ります。

目指せ！世界ジオパーク認定



環霧島探訪

—かんきりしまたんぼう—

豊かな小林市の湧水を守る活動が続ける「水の守り人」



湧水インストラクター
しみずよういち
清水洋一さん

清水洋一さん65歳。湧水インストラクターとして小林市内の湧水地を調査し、その保全に努めています。「私の苗字は『清水』。だから水を調べ守ることに使命感のようなものを感じたんです」と笑顔でその思いを語ります。調査を始めたのは50歳のとき、10年かけて70数か所の湧水地を発見しました。見つからずに、ただ山の中を歩き続けたこともしばしば。しかし、「特に苦労したとかはありません。私の活動が水を守ることに貢献できれば」と話します。しかし、湧水地から湧き出す水は減少傾向にあるそうです。一昨年の夏、清水さんが定期的に観測していたとある湧水地のこと。そこは、夏になると水



水源地調査

が湧き出す場所でした。しかしその気配がありません。結局水が出ることはありませんでした。前年の少ない降水量が原因とも考えられましたが、それは分かりません。同じ現象が起きた湧水地がもう一か所あり、湧水が限りある資源であることを痛感した出来事でした。（※現在は湧き出しています）昨年7月、小林市は水資源保全条例を制定。清水さんは「湧水は市の大きな魅力。保全には、ありのままの自然を残すことが大切です。条例を契機に、水が限りある資源であることを知ってもらえれば」と話します。現在は、小中学校から講師として招かれ、子どもたちに語りかける活動も行っている清水さん。その温かい眼差しは、これからも小林市の湧水を見守り続けます。

思い出の味を募集しています。住所、氏名、年齢、電話番号を記入の上、あなたの心に残る、食べたならなぜか元気になる味をエピソードとともにお願いします。採用された方には後日連絡の上、取材させていただきます。（宛先）〒899-4394 国分中央三丁目45番1号 秘書広報課「思い出の味」係

思い出の味

なぜか元気になる Taste of memories



Recipe (レシピ)

◎タジン鍋で作るナス田楽

【材 料】 ナス2本、みそ大さじ1、みりん小さじ1、砂糖大さじ2、水大さじ1、油少量

【作り方】

- ① ナスを縦に半分に切り、飾り包丁を入れておく。
 - ② 小さなフライパンに油をひき、みそ、みりん、砂糖を入れて中火が弱火で練る。（多めにできるので残りはほかの料理に）
 - ③ タジン鍋を熱し、油をひき、そこにナスの切った面を下にして入れて、少し焼き目をつける。
 - ④ ナスを裏返す（このとき、みそをぬってもOK）。
 - ⑤ 水を大さじ1入れ、ふたをして中火から弱火で10分ほど蒸し焼きにする。ナスがとろとろになったら②をお好みでつける
- ※タジン鍋で蒸し焼きにするとナスがとろとろに柔らかくなっておいしいです。お鍋のまま食卓に持っていき、アツアツのまま食べるのが間世田風。

※タジン鍋(写真)

モロッコなどで使われる鍋。とんがり帽子のような形のふたが特徴的で、その形状から蒸し料理などによく使われる。



溝 辺町竹子の間世田潤子さんは、子どものころから母スミ子さんの料理が好きでした。特に好きだったのが「ナス田楽」。*タジン鍋でナスを蒸し、自家製みそで作った田楽みそをつけた母特製。その優しい味は潤子さんの子どもたちにも大好評です。「ナス嫌いだった長男に、私が母の料理法でナス田楽を作って食べさせたなら、おいしい」と全部食べてくれました。今ではわが家の人気メニュー。子どもがおいしいそうに食べている姿を見ると、少しは母の味に近づけたかなとうれしくなります。5年前、農業に憧れ、鹿児島市から移住してきた潤子さん。夫の共実さんと一緒に農業の修業をし、昨年独立。「安心して食べてもらいたい」と農業を使わずに野菜などを栽培しています。収穫した物は近くの物産館で販売。希望者には料理の仕方も教えています。この料理法の基になっているのが母の味。健康志向が高かったスミ子さんは、あまり油を使わな

母の料理は愛情たっぷり



◎溝辺町竹子
間世田潤子さん(36)

いヘルシーでおいしい料理を作ってくれました。「母の作る料理は、いつもなんだかホッとする味でした。今考えると私たちのことを思ってくれる気持ち、そうさせていたのかもしれない。ほかの人にも、そんな気持ちになってもらいたくて母の味を紹介しています。それが私にできる親孝行だと思っています。」溝辺に引越す潤子さんにスミ子さんはタジン鍋をプレゼントしました。そこには娘を思う母の愛情が詰まっています。自分たちのこだわり野菜を使い、母の愛情がこもった料理法とタジン鍋で作った料理が並ぶ間世田家の食卓には、いつも家族の笑顔が広がっています。

えびの市 焼肉スタジアム



- ・日時=9月15日(土)午後4時~9時
- ・場所=えびの市国際交流センター(野外)
- ・内容=野外広場で焼き肉大会。前売りチケット1,500円(宮崎牛バラ100g、宮崎産豚バラ100g、宮崎産若鶏もも100g、ソーセージ2本、野菜盛り ※通常大人の1.5人前)。チケットは前売りのみで9月10日まで販売。そのほかマグロの解体ショーやキャンドル演出あり。

◎問=えびの市観光協会 ☎0984(35)3838

高原町 皇子原公園ヒガンバナまつり



- ・日時=9月22日(土) 午前10時~午後3時
- ・場所=皇子原公園多目的広場(高原町)
- ・内容=ヒガンバナの名所として知られる皇子原公園。古墳群や遊歩道、レジャー施設などもある自然公園で、秋には約300万本のヒガンバナが咲き誇ります。毎年、同園で行われる「ヒガンバナまつり」では、かぼちゃコンテストやステージショーなどが行われます。

◎問=高原町観光協会 ☎0984(42)4560

EVENTS OF KANKIRISHIMA



前田美順選手
Mitsuaki Maeda

4年前の北京オリンピックに続いて末綱聡子選手とペアを組み、2回目の出場を果たした前田美順選手。2度目となるオリンピックは、前回と比べて全く違う思いでの出場となりました。
「4年前は初めての出場で気持ちに余裕がありませんでした。今回は予選敗退という悔しい思いはしましたが、一試合一試合力を発揮することができ、満足できる大会でした」
北京オリンピックでベスト4に入った末綱・前田ペアは、いつきに注目が集まりました。周りの期待に応えないといけない重圧で、なかなか結果が残せず2人とも大きな目標が持てないまま、ただ試合をこなすような日々が続きました。しかし、厳しい練習をする中、またあの大きな舞台でプレーしたいという強い思いが芽生え始めます。「最初は、その覚悟がお互いにできていなかったたので、



新鍋理沙選手
Risa Shimada

女子バレーボール日本代表として最年少22歳で出場した新鍋理沙選手。安定したレシーブなどで、日本女子28年ぶりの銅メダル獲得に貢献。霧島市になって初のメダリストとなりました。
「銅メダルをかけてもらった瞬間、鳥肌が立ちました。試合を重ねるうちに、コートにいる選手やベンチにいる選手、監督、スタッフ全員の心が一つになり勝ち取ることができました。メダルのずっしりとした重さは、みんなの思いが詰まっています。今までたくさんのメダルをもらいましたが、今回が一番うれしいメダルになりました」
新鍋選手のバレーボール人生は順風満帆な道ではありませんでした。県内の高校に入学し、インターハイ優勝や春高バレーでベスト4に入るなどの活躍を見せましたが、部内で問題が起

この夏、夢と感動をありがとう

4年に1度のスポーツの祭典「オリンピック」。2012ロンドンオリンピックに出場した、女子バレーボールの新鍋理沙選手とバドミントン女子ダブルスの前田美順さんに、オリンピックでの思いを聞きました。



約200人で前田選手をお出迎え

気持ちがちぐはぐだったような気がします。でも、二人の固い結束もあり、最後の最後で出場を決められて本当に良かったです」と4年間の苦悩やモチベーションを維持することの難しさについて話します。
母校横川小学校の全校生徒から応援メッセージをもらった前田選手は「全部読みました。故郷からの温かいメッセージは大きな力そして励みになりました。コートの中でしか頑張れませんが、私のプレーが皆さんの元気になればと思います。ありがとうございました」と話します。

「私の人生はバドミントンそのもの。パートナー同様、切っても切れないものです。今の時点では4年後は考えられませんが、皆さんの声援を力に変え、目の前の試合に全力で頑張ります」
4年に1度のオリンピック。その間、苦悩や葛藤がありました。香港戦は勝っても決勝リーグに上がれないと分かっていった末綱・前田ペア。それでも、最後まで悔いのない2人らしい試合ができたことへの満足感が、試合後に抱き合う2人の笑顔に表れていました。



市役所で行われた応援会

こりバレーボールが続けられない状況になりました。バレーを辞めるか、転校するか。迷っている時、県外の高校から誘いがありました。行くか行かないか心が揺れ動く中、親友でありライバルでもある、チームメイトの大迫美帆さんに相談。大迫さんは「理沙が行くなら私も行く」とお互いに転校することを決心しました。
「バレーができなくなると思った時、辞めよう」と本当に考えました。だけど美帆や親などの励ましがあってバレーを続けることができました。みんなの支えがなければ、このメダルはありません。みんなです。つかんだメダルです」

新鍋選手の小学校2年生のときの文集には、バレーボールでオリンピックに出たい」と書かれています。夢を諦めず追い求めた結果、オリンピック出場。しかも銅メダルまで獲得し、幼い自分の描いた夢を超えた瞬間でした。
たくさんの人に支えられている新鍋選手。その首にかかる銅メダルは、金メダルに負けない輝きを放っています。それは本人の努力と、みんなの思いが詰まっている証しなのかもしれません。



錦江湾に眠る希少金属

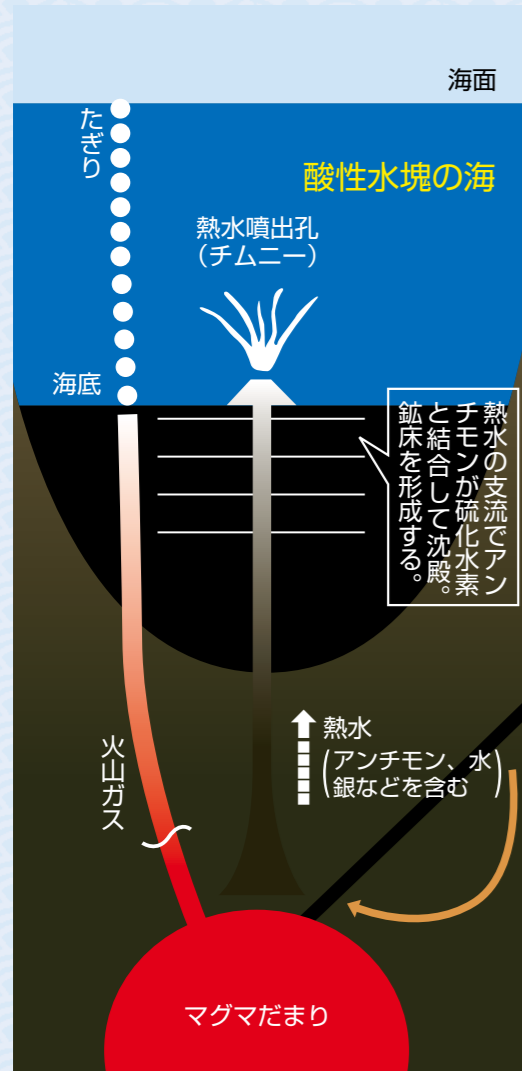
昨年3月、錦江湾で希少金属アンチモンが発見されたとの報道がありました。
錦江湾の海底では火山活動によって貴重な金属が作られていたのです。

福山町上空から錦江湾を望む



national park

アンチモン鉱床形成のイメージ



チムニー：海底の熱水活動によって金属化合物が噴出孔の周囲に沈殿したために煙突状の形になったもの。



輝安鉱：アンチモンの硫化物(アンチモンと硫黄の化合物)。独特の金属光沢を持つ針状の結晶が特徴。



錦江湾にもある石油

石油は長い時をかけてアスファルト分の多い黒色からガソリン分の多い透明へ変化していくものがあります。右の写真は、日本が輸入する中東の原油(約1億年前の生物起源)と同様に黒い国産原油。左写真の日本海の石油は約1500万年前の生物を起源とした若いものですが、すでに透明になっているのは珍しく、おそらく火山などによる熱水活動との関わりが深いのではないかとされています。錦江湾の石油は約6000年前の生物が起源とまだ新しく、泥の中に分散して存在しています。



7月号で霧島錦江湾国立公園の湾奥部、福山沖で「たぎり」の現象が見られる若尊海域を紹介しました。
この海域は火山噴火後に陥没したカルデラ部分に当たり、活火山「若尊」に相当します。水深200mの海底から噴き出した火山性ガスが海面に達する「たぎり」現象が見られ、周辺には人体には猛毒の硫化水素をエネルギー源とするサツマハオリムシが生息しています。そして、煙突状の先端

から熱水(温泉)を吹き出すチムニーと呼ばれる構造物があります。
今回は海底火山活動によってできた希少金属アンチモンなどを含む海底熱水鉱床について紹介します。
白く輝く海底
岡山大学大学院自然科学研究科の山中寿朗教授は平成5年から地球生命誕生の謎を解く研究の一環として錦江湾奥部の調査を開始。平成19年、九州大学などと共同で無人潜水艇を使った調査でチムニーを発見しました。
暗い海底を無人潜水艇のライトが照らします。船上のテレビモニターに映し出される光景をじっと見つめる研究者たち。「見つからなかった。引き上げよう」と誰もが思ったその時、高さ1・5m、直径2・3m、白く輝くチムニーの先端からは熱水が吹き出し、あまりの高温に海水が揺らいでいるのが見えました。
「船の上ではうれしさのあまり大歓声が上がりました」とその時の感動を話す山中先



岡山大学大学院自然科学研究科 准教授 山中寿朗さん

四国の山中で地質調査中

生。その後、次々に50m四方に3つのチムニーを発見しました。

46億年のロマン

地質学者は46億年前の地球誕生からの歴史を探り、鉱床開発に当たってはどのようなものがあるか探査し、見つければそれが有効な鉱物であるかを評価します。そして、埋蔵量や安全に取り出せるのか、採掘計画を作ったり、品質評

価をしたりします。

若尊海域の西側にあるチムニーから噴き出す200度近い熱水は地中にしみ込んだ海水がマグマで加熱されたものです。マグマで加熱される際、周辺の岩石からさまざまな成分が溶け込み一緒に運ばれてきます。噴出と同時に海水によって急に冷やされた熱水から溶けきれなくなった成分は、チムニーとなって堆積。これが熱水活動によって生まれる熱水鉱床です。

若尊では輝安鉱が鉱床をなしており、この中には国内消費の180年分、約90万トンのアンチモンや25トンの金、銀などさまざまな金属が含まれていました。このほかに埋蔵量は国内消費量の3日分ほどですが石油も発見されています。

希少金属アンチモンは、1トあたりの価格が100万〜150万円。ハイテク製品のほか、映像を記録するブルーレイディスクや熱に強いプラスチック、自動車部品など少量ですがいろいろなものに使われています。

新たな鉱床の発見のために

錦江湾にある鉱床の採掘は採算に合うのかとの質問には「それは日本が工業国を目指し、これからもアンチモンなどの鉱床が必要なのかということにもよると思います。ただ、この調査は錦江湾の採掘ということだけではなく、熱水活動によって鉱床がどのように作られるかを解明し、同様の活動の場所と同じようなアンチモンや金などを含む鉱床があるのではないかとという調査指標が得られます。日本には、まだ発見されていない鉱床があります。その発見のために錦江湾は特別な存在なのです」

火山の恵みでもある海底熱水鉱床。これほど浅い海にあるチムニーは、世界にここだけにしかありません。調査するにはとても適した海なのです。
山中先生らは今年9月にも学術調査を実施し、採掘するための試掘を計画しています。錦江湾が日本の資源開発に役立つとうとしています。

郷土史への扉

「上野原縄文の森」は今年の十月で開園して十周年を迎えます。今回は縄文時代について紹介したいと思います。

縄文時代とは

そもそも「縄文時代」とは、いつごろでどのような時代だったのでしょうか。

縄文時代は一般的には、今から一万三千年前から二千三百年前までのことを言い、旧石器時代と弥生時代に挟まれた時期を縄文式土器の変化によって大きく六つ（草創期・早期・前期・中期・後期・晩期）に分けています。

私たちは時代の区分を一般的には人々の営み、すなわち、国の成立、支配者の交代、社会・文化の変化によって分けていますが、旧石器時代から縄文時代への移り変わりは、自然環境の急



上野原遺跡で発見された丸と四角の口をした壺形土器。2つならべて埋められていた。

変動という非常に大きな変化がありました。

縄文時代のはじまり

旧石器時代から縄文時代への移行期は、最後の氷河期である「ウルム氷河期」から温暖期に向かう気候変動の時期で、植生も針葉樹から落葉広葉樹へ交代し、日本列島も海面が急速に上昇して大陸と分離していきました。

「上野原縄文の森」開園十周年記念
縄文時代の魅力

この急激な環境変化によって、これまで生息していたマンモスやトナカイなどの大型哺乳動物が絶滅し、小型哺乳動物や木の実、魚介類が多く取れるようになったことで、人々の暮らしは狩猟による移住生活から狩猟採集による定住生活に変わりました。また、狩猟する動物（小型動物・魚介類）の変化によってさまざまな道具（石器、釣り針、銚、網など）が考案され、採取した木の実などを保管したり、煮炊きするために土器が発明され、地域によってさまざまな形の土器が作られるようになりました。

上野原遺跡の登場

その定住化が南九州から始まったのはそれなりの理由があります。

先にも述べたように、旧石器時代の終末期は、最終氷期の名残で気候は寒冷で、日本列島は針葉樹に覆われていました。縄文時代に入り、温暖化が進んでくると、低緯度に位置している南九州から落葉広葉樹の森が形成されていきました。

この自然環境の変化が、落葉広葉樹が持つ高い植物性食料（木の実）の供給力によって定住生活が可能となり、上野原台地に人々が住み始めました。

その後も温暖化が進み、落葉広葉樹の森は東日本へ、そして北日本まで広がっていききました。

がっていききました。その結果、縄文文化は青森県の三内丸山遺跡を代表とするように、東日本で大きく花開いていきました。

縄文人に学ぶ

縄文時代は約一万年続きますが、その間一貫してきたことがあります。

それは「自然との共生」です。日本各地に残っている縄文遺跡からは「自然の恵みに感謝し、そして敬う」という縄文人の心や息吹きを垣間見ることができます。

弥生時代以降は、稲作などの農耕社会となり、人々は自然との共生から、自然の征服へと考え方を換え、自然破壊を繰り返すこととなりました。

上野原遺跡や三内丸山遺跡をはじめとした縄文遺跡は、数千年の間、自然災害などから壊されることなく今日まで保存されてきました。これは、縄文人が津波や河川の氾濫、土砂崩れがない安全な場所に暮らしていたことを現しています。

私たちは、東日本大震災や集中豪雨などによる水害など自然災害に被災してきました。自然の猛威の前では私たちは無力です。今一度、縄文人の心や生き方を上野原縄文の森で学んでみてはいかがでしょうか。

文責 鈴

がん検診

HEALTHY LECTURE
やさしい健康講座

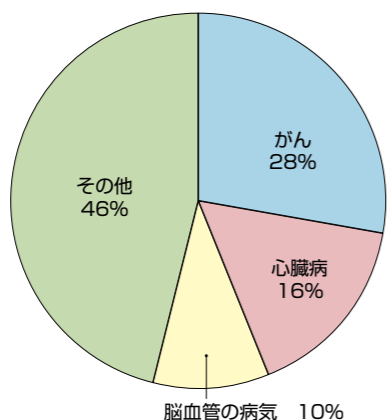
すこやか保健センター
上小園 貴子



がん検診の重要性

皆さん、最近がん検診を受けていますか。平成23年度の死亡原因の1位はがん、35万8000人、2位は心疾患19万8000人、3位は脳血管疾患12万6000人の死者数となっています。日本人の約3人に1人は、がんで死亡していることになります。家族や友人、親戚など、がんになったと聞く機会が多くなっているのではないのでしょうか。それだけがんは、身近な病気になりつつあります。

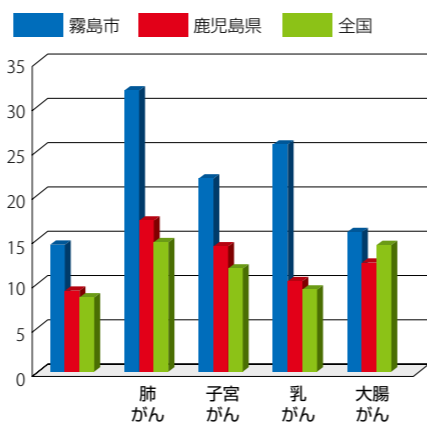
H21年度死亡原因率



霧島市のがん検診受診状況

市は国や県と比較し、やや高めの受診状況ですが、まだまだ受診率が低いです。たくさんの方に受診していただき、がんの早期発見に役立てていただきたいと思っています。

H21年度がん検診受診率 (%)



がん検診クーポン対象年齢

対象がん検診	対象年齢	生年月日
子宮がん検診	20	H 3.4.2 ~ H 4.4.1
	25	S61.4.2 ~ S62.4.1
	30	S56.4.2 ~ S57.4.1
	35	S51.4.2 ~ S52.4.1
	40	S46.4.2 ~ S47.4.1
大腸がん検診	45	S41.4.2 ~ S42.4.1
	50	S36.4.2 ~ S37.4.1
	55	S31.4.2 ~ S32.4.1
	60	S26.4.2 ~ S27.4.1

がんを早期に見よう

がんは、不治の病ではありません。早期に見えれば、治療率はぐんと良くなります。症状の出ない早期に見ることが大切です。私は絶対に大丈夫、がんにはならないと自信を持っている方も、ぜひ、年に1回はがん検診を受けて、健康の確認をしましょう。そして、あなたの周囲の大切な方たちも安心させてあげてください。

☎ 178 すこやか保健センター ☎ (42) 178

お詫びと訂正

広報8月上旬号20ページの「健康情報の相談窓口」について誤りがありましたので訂正してお詫びいたします。

(誤) 霧島市医師会医療センター血液

内科 ☎ (42) 1171 (毎週月曜日、金曜日は1、2、3、5週)

(正) (毎週火曜日と、1、2、3、5週の金曜日)

Annuit

10月から後納制度が始まります

過去10年以内に国民年金保険料の納め忘れの期間がある方は、申し込みにより、平成24年10月から平成27年9月までの3年間に限り、国民年金保険料を納めることができる期間が、過去2年から10年に延長(「後納制度」といいます)されます。

後納制度を利用することにより、年金額の増額や受給資格期間(25年)を確保できる

場合があります。

対象となる方には、日本年金機構から「お知らせ」が送付されますので、ご確認ください。

■後納制度を利用できる方

- ① 20歳以上60歳未満の方
- ② 10年以内に保険料の納め忘れの期間(納付や免除以外)や、未加入の期間がある方
- ③ 60歳以上65歳未満の方
- ④ ①の期間のほか、任意加入中に納め忘れの期間がある方。
- ⑤ 65歳以上の方

年金の受給資格がなく任意加入中の方など。

※老齢基礎年金を受給している方は申し込みできませんので、ご注意ください。

■後納制度のポイント

- ・納付可能な10年以内とは、納めようとする月前10年以内の期間です。
- (例)平成14年10月分を後納する場合→平成24年10月末日が納付可能期間となります。
- ・後納制度を利用いただく場合は、後納が可能な期間のうち最も古い分から納めていただきます。
- ・過去3年度以前の後納保険料には、当時の保険料額に加算額が付きまします。
- ・一部免除(4分の1免除、半額免除、4分の3免除)された期間のうち、未納となっている期間も対象となります。この場合の後納保険料は、一般の未納期間と同じ1か月分の保険料が必要となります。

うち最も古い分から納めていただきます。

過去3年度以前の後納保険料には、当時の保険料額に加算額が付きまします。

一部免除(4分の1免除、半額免除、4分の3免除)された期間のうち、未納となっている期間も対象となります。この場合の後納保険料は、一般の未納期間と同じ1か月分の保険料が必要となります。

年金相談

- 日時 9月21日(金) 午前10時30分～正午、午後1時～3時
- 場所 国分公民館3階小研修室 ※相談無料で、秘密は堅く守られます。
- 必要書類 相談者本人であることを確認できるもの。
- ◎ 街角の年金相談センター 鹿児島 099(295)3348、保険年金課 鹿児島グループ 64(0886)

Health



自殺予防週間

9月10日から16日は自殺予防週間です。誰でも心の健康を損なう可能性があります。本市では、一人一人が自殺を特別なことではなく、身近な問題として受け止めて自殺対策の主役となるよう、共に支えあえるようなまちづくりを進めています。

あなたにもできる自殺予防のための行動

- ・家族や仲間の変化に気付いて声をかける。
- ・発言や行動、体調の変化など家族や仲間の変化に敏感になり、心の悩みやさまざまな問題を抱えている人が発する周りへのサインに早く気付きましょう。
- ・変化に気付いたら、「眠れてますか」など、自分のできる声かけをしましょう。

〈傾聴〉

本人の気持ちを尊重し、耳を傾ける。

- ・悩みを話してくれたら、時間をかけて、できる限り傾聴しましょう。
- ・話題をそらしたり、訴えや気持ちの否定したり、表面的な励ましをすることは逆効果です。本人の気持ちを尊重し、共感した上で、相手を大切に思う自分の気持ちを伝えましょう。

〈見守り〉

温かく寄り添いながら、じっくりと見守る。

- ・身体や心の健康状態について自然な雰囲気ですべてを聞かせるのではなく、あせらず優しく寄り添いながら見守りましょう。
- ・必要に応じて、頼れる人と連携を取り、専門家に情報提供しましょう。

- ◎ 健康増進課 64(0905)
- ◎ 本市では、心の相談も月2回行っております。一人で悩まず、まずは相談をしてみませんか。

Welfare

介護予防事業を開催

地域の高齢者の皆さんが、住み慣れた地域で安心して生活を続けることができるように、また要介護状態にならないように次の施設を市の介護予防拠点と位置付け、介護予防事業を開催しています。

- 対象 65歳以上の方とその方の支援をする家族など。
- 時間 2時間程度
- 内容 健康体操、栄養教室、音楽療法、認知症など介護予防に関すること。

介護予防拠点一覧 (平成24年度実施分)

施設名	住所	電話番号
国分府中デイサービス内	国分府中町13-15	☎(48)6603
地域交流・介護予防拠点数根(小規模多機能ホーム数根に併設)	国分數根1028-2	☎(73)6378
介護予防拠点日輪荘(グループホーム陽だまり日輪荘内)	国分広瀬2-29-37	☎(55)0700
地域交流スペース(地域サポートセンターよいごに併設)	国分府中町17-8	☎(48)8877
フラワーホーム(隠居長屋ろんち内)	満辺町麓947-3	☎(58)3714
そよかぜ(準人尚愛会病院隣)	隼人町小田252-4	☎(43)2222
小規模特別養護老人ホーム日当山の家	隼人町松永1171	☎(43)6670
介護予防センターこころ(杉安病院内)	霧島田口2143	☎(57)1221

成年後見相談会を開催

判断能力が不十分な方々(認知症高齢者、知的障害者、精神障害者など)の財産管理や身上監護などについて相談に応じる成年後見相談会を開催されます。相談を希望される方は、事前に問い合わせください。

日時 10月6日(土) 午前10時～午後4時まで

「成年後見制度」とは

判断能力が不十分な認知症高齢者、知的障害者、精神障害者などは、不動産や預貯金などの財産管理、介護サービスや施設入所に関する契約、遺産分割の協議などを、自分ですることが難しい場合があります。自分に不利な契約であっても、よく判断ができずに契

◎ 鹿児島司法書士会

099(256)0335、公益社団法人成年後見センター・リーガルサポート 鹿児島支部 099(251)5822

司法書士・土地家屋調査士・税理士による無料法律・登記・税務相談所開設

鹿児島県司法書士会、鹿児島県土地家屋調査士会、南九州税理士会鹿児島県連合会による法律・登記・税務無料相談会を次のとおり開催します。土地建物の登記、境界問題、相続問題、成年後見手続、裁判手続、消費者金融問題、税務相談、供託手続など、さまざまな相談に対応しますのでお気軽にご利用ください。

- 日時 10月6日(土) 午前10時～午後4時
- 場所 国分公民館3階
- 相談員 司法書士、土地家屋調査士、税理士
- ※事前予約は不要。相談希望の方は、当日直接会場までお越しください。※相談無料、秘密は堅く守られます。
- ◎ 鹿児島司法書士会 099(256)0335、県土地家屋調査士会 099(257)2833、南九州税理士会鹿児島県連合会 099(256)6148

全国一斉法務局休日相談所

日時 9月23日(日) 午前10時～午後4時(受け付けは午後3時30分まで)

場所 鹿児島地方法務局霧島支局

相談の内容

- 登記 土地建物の売買・相続、境界問題、抵当権の抹消、住所の変更、建物の滅失など。
- 戸籍・国籍 戸籍届け出、

子どもの人権110番

帰化などの問題。

- 供託 土地建物の地代家賃、給料に対する差し押さえなど。
- 人権 相続、扶養、離婚など家族間の問題、差別、家庭内暴力、児童虐待、体罰いじめ、そのほかの悩みなど。
- 相談員 法務局職員など。

※相談は無料で秘密は堅く守られます。

◎ 鹿児島地方法務局霧島支局総務課

099(256)0335、099(251)5822



市からのお知らせや募集などの情報をお届けします。

詳細な情報は掲載されている問い合わせ先に、ご連絡ください。

※問=問い合わせ先 問=申し込み先
※健マ=「健康マイレージ」対象の事業

お知らせ

霧島市福祉手当を支給します

重度心身障がい児、重度心身障がい者および災害遺児の福祉増進を目的として、霧島市福祉手当が支給されます。ただし、特別障害者手当などの受給者は除きます。受給資格のある方は、長寿・障害福祉課、単人福祉課、各総合支所市民福祉課で申請してください。

※平成23年度に霧島市でこの手当を受給された方は、申請の必要はありません。

- 受給資格者=平成24年10月1日現在、霧島市に継続して1年以上住所を有し、次のいずれかに該当する方。
 - ・身体障害者手帳1級または2級を所持する方。
 - ・療育手帳A、A1、A2を所持する方。
 - ・身体障害者手帳3級と療育手帳B1を合わせて所持する方。
 - ・精神保健福祉手帳1級を所持する方。
 - ・不慮の災害のために父母の両方もしくは一方が死亡した義務教育終了前の方。ただし、父または母が婚姻関係(事実上の婚姻を含む)に至った方は除く。
- 必要なもの=申請する方の印鑑(認め印可)、身体障害者手帳、療育手帳または精神保健福祉手帳、本人名義の通帳。
- 手当の額=年額10,000円(ただし、10月1日現在で手帳の交付を受けてから6か月未満の方は5,000円)
- 受付期間=10月1日(月)～12日(金) ※期間厳守

問=長寿・障害福祉課障害福祉グループ ☎(64)0995

防災行政無線の全国一斉自動試験放送

津波警報や緊急地震速報、弾道ミサイル情報といった対処に時間的余裕のない事態が発生した場合に、人工衛星を用いて国から住民に直接緊急情報を自動的かつ瞬時に伝達するシステムを本市では導入しています。

このシステムの全国一斉の試験放送が下記の日程で行われます。お近くの防災行政無線のスピーカーもしくは戸別受信機などからサイレンや音声の流れますが、あくまでも試験放送です。特別な対応は必要ありませんのでお知らせします。

- 放送内容=「これは、試験放送です」を3回繰り返し、終わりのチャイムが鳴り試験放送終了です。
- 試験放送日=9月12日(水) 午前10時から(1回目)、

午前10時30分から(2回目)

問=安心安全課 ☎(64)0997

または単人地域振興課、各総合支所地域振興課

就業構造基本調査を実施

平成24年10月1日現在で就業構造基本調査を実施します。この調査は「統計法」に基づき、国民の普段の就業・不就業の状態を詳細に把握することにより、雇用政策をはじめ経済政策などに必要な基礎資料を得ることを目的としています。調査結果は、雇用に関する各種政策の立案などの貴重な資料となります。

9月下旬から、調査員が世帯を訪問して調査票を配布します。記入していただいた調査票は厳重に管理し、統計の作成に関する目的以外に使用することはありません。※対象は任意に抽出された一部の世帯です。

問=企画部情報政策課統計グループ ☎(64)0933

秋の全国交通安全運動

- 実施期間=9月21日(金)～30日(日)
 - スローガン=「ルールとマナー乗せて走ろう秋の道」
 - 運動の最重点=子どもと高齢者の交通事故防止
 - 運動の重点
 - ・夕暮れ時と夜間の歩行中、自転車乗車中の交通事故防止(特に反射材用品などの着用の推進や自転車前照灯の点灯の徹底)。
 - ・全ての座席のシートベルトとチャイルドシートの正しい着用の徹底。
 - ・飲酒運転の根絶。
- ※夜間、歩行中の交通事故を防ぐため、お出かけの際は明るい服装に心掛け、反射材を持ち物に着けるなどの活用をお願いします。

問=安心安全課交通防犯グループ ☎(64)0997

不活化ポリオワクチン予防接種について

市では例年、生ワクチンを口から投与するポリオ予防接種を、春(5月～6月)と秋(11月～12月)に保健センターで実施していましたが、国が予防接種実施規則の一部を改正し、9月1日からポリオの定期予防接種については、不活化ワクチンを使用した注射で行うことになりました。このため、市でのポリオ予防接種も、秋の集団接種は行わず、医療機関での個別接種に移行する予定です。

個別接種の開始時期につきましては、現在のところ調整中で、今年度の通知対象者には、改めて詳細を通知しますが、それ以外の年齢の方は問い合わせください。

問=健康増進課健康増進グループ ☎(64)0905

募集

自然体験モニターツアー参加者募集

霧島錦江湾国立公園の誕生を記念し、海岸沿いの自

然と文化に触れる体験プログラムを作成しました。修学旅行などの団体旅行を誘致する目的で新たに企画した体験メニューですが、内容の充実化を図るために「自然体験モニターツアー」を開催します。

- 日時=9月16日(日) 午前10時～午後3時30分
- 場所=福山港周辺
- 対象者=霧島市内の中学生、高校生
- 定員=40人(先着順、定員になり次第締切り)
- 参加料=無料
- 内容=黒酢ブリ餌やり体験見学(黒酢ブリを使ったお弁当あり)、黒酢工場見学、歴史散策(福山)。
- 申込期間=9月4日(火)～12日(水) ※必着
- 申込方法=指定の応募用紙に必要事項を記入の上、観光課へ郵送または持参。(ファクス不可) 参加希望の方は、事前に連絡ください。

問・問=観光課観光PRグループ ☎(64)0895

メディアセンター主催講座

501/デジカメ写真加工講座入門コース

- 期日=10月23日(火)、24日(水)
 - 502/デジカメ写真加工講座ステップアップコース
 - 期日=10月25日(木)、26日(金)
 - 受講料=1,000円
 - 時間=午前9時30分～午後3時30分
 - 会場=メディアセンター
 - 定員=20人
 - 申込方法=往復はがきに講座番号、講座名、住所、氏名、電話番号を記入し郵送。
 - 申込締切=10月9日(火) 必着
 - 受講決定=はがきで通知(申込多数の場合は抽選)
- 問・問=メディアセンター ☎(64)0919、
〒899-4394 国分中央三丁目45-1

国際交流ダンス教室

国際交流員と今、話題のベリーダンスを学びませんか。運動しながら国際交流をしましょう。

- 日時=9月18日、10月2日、16日、30日(火曜、全4回)、午後6時30分～8時(一回だけの参加も可能です)
- 場所=国分公民館4階音楽室
- 定員=15人(申込多数の場合は抽選)
- 対象者=中学生以上の女性
- 参加料=無料
- 申込期限=9月14日(金)

問・問=企画政策課国際交流グループ ☎(64)0914

国際料理キッチン

メキシコ料理のコーントルティーヤとエンチラーダを作り、味わいながら国際交流員たちと異文化の交流をしませんか。

- 日時=9月25日(火) 午後6時～8時30分

- 場所=国分公民館2階調理実習室・講義室
- 定員=15人(申込多数の場合は抽選、少数の場合は中止になることがあります)
- 参加費=500円(保険料込み)
- 申込期限=9月18日(火)

問・問=企画政策課国際交流グループ ☎(64)0914

自衛官募集について

募集種目	受験資格	受付期間	試験期日
看護学生	高卒(見込み含む) 24歳未満の方	10/1(月)まで	10/20(土)
防衛大学校学生	高卒(見込み含む) 21歳未満の方		11/10(土)、11(日)
防衛医科大学校学生			10/27(土)、28(日)

問=自衛隊鹿児島地方協力本部国分地域事務所
☎(45)1836

サンあもり自主講座自主講座生募集

講座名	日時	開講日	受講料	定員
太極拳	10月～12月 (毎週金曜) 14:00～15:30 (全10回)	10月5日(金)	4,000円	20人
ハタヨガ ～初級クラス～	10月～12月 (毎週火曜) 19:00～20:10 (全10回)	10月9日(火)	4,000円	21人
もっときれいに スローフロー ヨガ	10月～12月 (毎週水曜) 19:00～20:30 (全10回)	10月10日(水)	4,000円	21人
骨盤 エクササイズ	10月～12月 (毎週月曜) 9:45～10:50 (全10回)	10月15日(月)	4,000円	30人
たのしいテニス (初級者向け)	10月～12月 (毎週火曜) 9:30～11:30 (全10回)	10月16日(火)	3,500円	15人 (成人男女)

- 申込方法=直接または電話で。
- 申込期限=定員になり次第。

問・問=サン・あもり ☎(43)3373

天降川地区共同利用施設自主講座生募集

■手作りみそ講座

- 日時=9月26日(水) 午後1時～3時、9月28日(金) 午前10時～正午(全2回)
- 定員=12人(成人男女)
- 準備するもの=エプロン、三角巾、筆記用具
- 受講料=1,500円(材料費込み) 1人当たり約5千円のみそを持ち帰りできます。
- 申込方法=直接または電話で。
- 申込期限=定員になり次第。

問・問=天降川地区共同利用施設 ☎(43)1951

8 9 9 4 3 9 4

お手数ですが
50円切手をお貼りください

◎ご氏名
フリガナ _____

年齢 / _____ 歳 性別 / _____ 男・女

◎ペンネームまたはイニシャル _____

※記入がない場合、実名で記載させていただきます。

◎ご住所 □□□□□□□□ _____

電話 (_____) _____ - _____

おたより 待ってます

この広報誌を読んだ感想や今後取り上げてほしい記事、霧島市への思い、あなたの周りであった身近な出来事や話題など、何でも好きなことを書いてください。

お便りをくださった方の中からホテル京セラのペアランチチケットを5人の方にプレゼント。応募締め切りは9月20日(木)当日消印有効です。当選の発表は、商品の発送をもってかえさせていただきます。

霧島市役所 秘書広報課 行

(No.150/2012.9)

↑点線に沿って切り取ってください。(官製はがきでも可)



瀬戸口ムツ子さん(国分)

Readers Voice

読者の声

このコーナーは読者の皆さんからの声を伝えるページです。本誌への感想、霧島市への思いなど、たくさんのお寄せください。



私 は母になった孫に教えられたことがあります。孫の4か月と2歳10か月の息子が、実家に帰る新幹線の中で言うことを聞かず人に迷惑をかけることがあり泣きたくなることもあるそうです。そんな時は「私の一生のうちの今の時間だけ頑張ろう」と自分に言い聞かせ、また、嫌なことがあるたびに「これは一生のうちの今の時間だけ」と思うと子どもの笑顔を見る余裕ができるとのこと。

私 も「一生のうちの今だけ」この言葉でよくよせず後の時間を大切に過ごしたいと思っています。(佑・良のひばり72)

歳女性)

大人になったお孫さんから生き方を教わるなんてすてきですね。嫌なことの後には良いことが待っているはずですからよくよせず前向きに。

夏

休み、朝早くから子どもらの元気な声が聞こえるのはラジオ体操の時間。今では「正しいラジオ体操の仕方まで忘れたな」と思っていた矢先、今月の「元氣きりしまっ子」に向花小学校のラジオ体操特訓の記事がありました。目的はラジオ体操を通じて体も心も成長してほしいと

のことだそうです。記事を読み、向花小学校に行く2年生の孫の成長を楽しみにしております。(霧島人60歳男性)

私

夏休み期間中毎日、眠い目をこすりながら、家からラジオ体操をする場所まで歩いて行ったかわいかったころの自分を思い出します。

隼

人港から意外と近いところにある神造島(辺田小島・弁天島・沖小島)一周の素晴らしい島巡りをする機会に恵まれました。途中カタクチイワシの「いけす」から大きな漁船に積み上げる作業も見せていただきました。

弁天島に上陸して島を歩ききれいな貝殻も見つけました。新たに国立公園に指定された海域公園地区です。一人一人が海を汚さないよう気を付けることで、もっとたくさん島の

月

3人の子どもたちと楽しみに待っています。3歳の長女が私を忘れていても音楽が流れるとすぐ「ママ、図書館来たよ」と教えてくれます。大きなバスが本を運んで来て中にも入れるなんて、子どもたちにとつたらすごうれいことだと思います。大喜びしますよ。

同じ場所でも陸と海からでは風景が違って見えます。海に出てそこに住む生き物たちと触れ合うことで大切にする心も生まれるのでしょうか。

親も忙しい育児の中、図書館へなかなか行けないので助かります。まだ利用されたことのない方、お勧めですよ。これからも市民の楽しみを運んで頑張ってください。(ラノン'Sママ30歳女性)

音楽が聞こえた瞬間、うれしそうに飛び出して行く姿が目につかびます。移動図書館については国分または単人図書館にお電話ください。

蒸

暑い日中を過ぎ、夕刻になると多くの方が歩いています。夏ということもあるでしょうが、皆さん白っぽい明るい服装で、運動して通過する側は助かります。でも冬というか寒くなると黒っぽい服装になってくるので、ドキッとすることが多くなります。年に一回の「敬老の日」のイベント主催者の方にお願ひがあります。どうか「光るタスキ」をお願いします。散歩やウォーキングは夕方だけとは限りません。早朝4時から歩く途中で命を亡くす方もいらっしゃいます。どうか、今年の冬はそんな悲しいことが1件でも減りますようにご検討ください。(チューリップママ52歳女性)

千

葉県で働いていて、盆正月には毎年のように単人の実家に帰省します。このたび、国立公園として、新たに錦江湾奥の海浜地区が指定されたことは喜ばしい限りです。かねてから気にしていることがあります。単人の清水浜から永浜にかけての国道10号沿いが雑草などで覆われたままになっていることです。そこは錦江湾、神造島、桜島が目の前に広がる景勝地であり、かつてはきれいな景観をカメラに収めたこともあるほどの場所です。

国立公園の指定とはいささか離れた場所かもしれませんが観光立県の鹿児島という視点からも行政の力できれいな景観を取り戻せないものかと願っています。(豎山幸男59歳男性)

思

「あつくん」さんの思い出の味は何でしょうか。皆さんからの「思い出の味」も募集中です。

さつま狂句 題「計算」
千秋楽 計算狂った
横綱相撲
東北の計算出来ずの
大津波
(東芦谷吉男さん86歳男性)

この他に5通のおはがきがありました。

文章は添削させていただきます。ご了承ください。

「やっばいよかなあ」「こいがなかとなあ」「やっばい竹子じゃっど」小学校の校庭で打ち上げられる仕掛け花火を見られた方からありがたい言葉をたくさんいただきました。



今が旬のはぎいわ農園のブドウ

毎年、8月14日に私の地元、溝辺町竹子地区では「竹子盆踊りの夕べ」が竹子小学校校庭で盛大に開催されています。会場ステージからすくすくばで打ち上げられる花火は迫

力満点です。来場される方は、地元の方はもちろん、お盆で帰省された方など、多い時は約1000人の観客があります。ステージでは、地元の方や保育園児の踊りや、さまざまなゲーム、そして会場全体に呼びかけて行われる総踊り。田舎の小さな学校で行われる大きなイベントです。

地元の力が 私たちを育ててくれる

◎剥岩 修一郎

かかる経費のための資金として、地区内を二軒一軒回って、お願いする寄付金集めから始まります。当日のステージでの内容を考えたり、花火業者と打ち合わせたり、当日の会場周辺の警備など、本当に二から全体的な準備がなされています。私が関わり始めたのは高校生からでした。当時の青年団の人数は3人くらいだったでしょうか、地元の同

級生や、先輩、後輩、みんなで、がむしゃらになって取り組んでいました。さまざま活動をしていく中、自分たちの悩みや楽しみを共有する事によって、より深い絆を結ぶ事もできました。高校卒業後も地元に残った者は青年団に入り先輩方の後を引き継ぎ活動していました。



Profile

はぎいわ しゅういちろう(33) 霧島市溝辺町竹子出身、高校卒業後、実家を継ぎ(例)はぎいわ農園へ就職、「ブドウ・ナシ」を栽培。高校時代は、高校生クラブに所属。卒業後は地元溝辺町青年団へ入団し、さまざまなイベントやボランティア活動に取り組む。

霧島市携帯サイト



携帯電話からも、霧島市の情報をご覧ください。パソコンをお持ちでない方も、インターネット接続可能な携帯電話を利用して、霧島市ホームページの情報の一部を検索できます。

◎人口 / 128,257人(+368)
男性 / 61,679人(+114)
女性 / 66,578人(+254)
出生121人 / 死亡 99人
転入376人 / 転出347人
◎世帯数 / 58,822世帯(+154)
(平成24年8月1日現在)

↑点線に沿って切り取ってください。(官製はがきでも可)

PRESENTS

お便りをくださった方の中から

ホテル京セラ 1F洋食レストラン「デルソール」の

ヘアランチチケット プレゼント!

開放的な眺めが人気のホテル最上階、絶景バンケット「サザンクロス」がこの夏、より心地良い空間に大変身! 霧島の自然と大アトリウムを一望するスタイリッシュな空間で、美しい眺めと美食をお楽しみいただけます。

サザンクロスのお問合せ・ご予約は
ホテル京セラ営業部 0995 (43) 7113

ウェディングをお考えの2人に朗報です!

TOPバンケット「サザンクロス」 リニューアル オープン



※読者プレゼントを提供して下さる方を募集しています。秘書広報課広報広聴グループ ☎(64) 0955 までご連絡ください。

今月の表紙



10月5日に上野原縄文の森は開園10周年を迎えます。縄文時代にはどんな人たちが住んでいたのでしょうか。どんぐりの実、イノシシの肉、貝、魚、自然から得られるものを食べ、竪穴式住居を造り、家族が一つ屋根の下で暮らしていたのでしょうか。そんなことを思いながらカメラを手にしていると遠くに人影が…。「まさか、縄文人」夢中でカメラのシャッターを押しました。

【撮影データ】

現代人?それとも縄文人?
8月23日 午後1時3分
デジタルカメラ レンズ18~135mm
F3.5~5.6 1/1600 F4.0 ISO200

上 野原縄文の森は何度か行ったことがあるが、今回の取材で縄文の新しい魅力をたくさん知った。連穴土坑で燻製した肉や魚の香ばしい匂い。集石遺構で蒸し焼きにしたホクホクのじゃがいも。9500年前の文化がこんなに進んでいたことに感動。あー、一口食べたかった(う)

何 気なく表紙を見た(う)さんが、「150号なんですええ」と言う。本当だ。今月号は記念すべき150号。そんな記念すべき広報誌にオリンピック選手が二人、しかも銅メダルが載っている。私たちは誓う。「次はもっとたくさんのメダルを載せたい」だから誰か頑張る(た)

私 の地元、「福山の星」新鍋選手。市役所であったバレーボール応援会では声がかかるまで応援しました。特に、あの中国戦は私にとって忘れることのできない一戦になりました。自分の夢、そしてみんなの夢をかなえた新鍋選手。地元から素晴らしい選手が出て誇りに思う(は)

最 終戦後に見せた前田美順選手の笑顔は印象的でした。予選敗退ではありませんが、その満足げな表情は4年前よりも輝いて見えました。前田選手は「勝つことだけが全てではない。自分のプレーを出せるかが大切」。あの最高の笑顔は、スポーツの真髄を教えてくださいました(み)

市長コラム 前田終止

夢が目標にかわる瞬間
「わたしの夢は大人になってバレーボールでオリンピックに行くことです」これはロンドンオリンピック女子バレーボールで大活躍をし、銅メダルに輝いた新鍋選手が小学生の時に書いた作文です。ご両親の愛情、指導者の情熱、仲間との絆を力にそして何より自分自身との闘いに勝ち、彼女は14年後にその夢を実現しました。その興奮冷めやらぬころ、日当山バレーボールスポーツ少年団が全国大会で見事準優勝に輝き「将来は新鍋選手のようにオリンピックで活躍したい」と目を輝かせて語ってくれました。「国分中央高校のスポーツ健康科に通い、8年後に本県で開催予定の国体でも活躍してほしい」と激励しました。新鍋・前田両選手は私たちに夢と感動を与え、努力によって夢は実現するということを教えてくださいました。「いつかは」と願うだけなら夢。「いつまでに」と達成時期を決めた瞬間に夢は目標へと変わります。オリンピックは夢を実現する生き方と家族や仲間との絆の大切さを教えてくださいました。